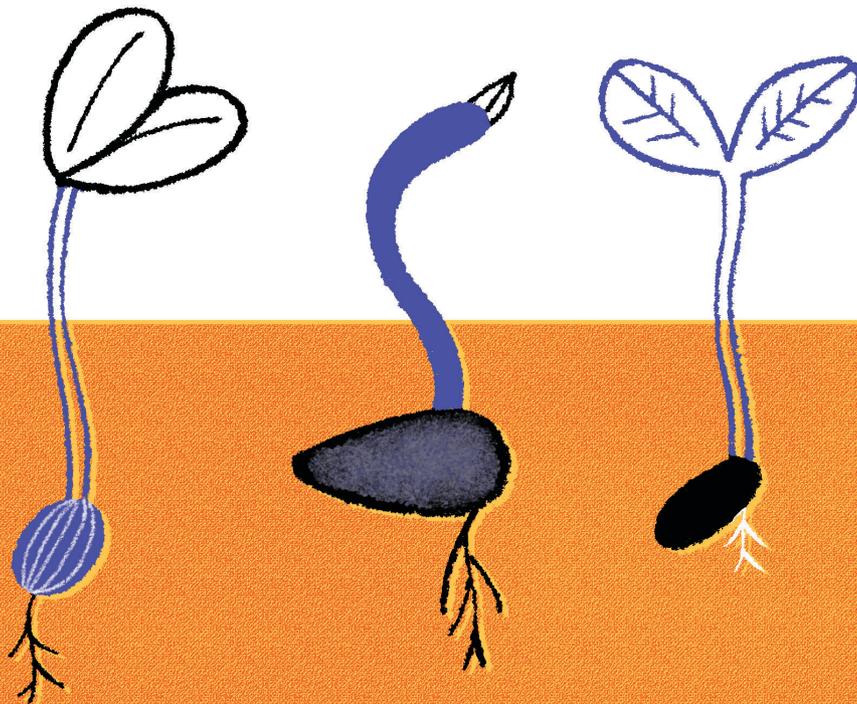


入れ問題を考える

民間・ものづくり・金属の立場で、金属労協は、長期的な人材育成の観点から、なしくずしいな外国人労働者受入れ拡大に断固反対する姿勢をとっています。金属労協としては、「短期外国人就労制度」は導入しない。外国人研修・技能実習制度を健全化し、「技術・技能を発展途上国に移転し、人づくりに寄与する」という制度本来の趣旨が機能するよう、制度整備、運用の改善を図ることを主張しています。

今号では、現在高まっている外国人労働者受入れ拡大の圧力に対して、金属労協の外国人研修・技能実習制度につ



maco.

特集

外国人労働者の受

いての改革提案の内容を掲載
します。

同時に、海外における外国
人労働者受入れ制度の実態と
課題について、イギリス、フ
ランス、アジアの事例を紹介
します。アジアについては、
韓国、台湾を中心に紹介して
います。

また、韓国の外国人労働者
受入れ制度「雇用許可制度」
の内容について、本年10月末
に東京で開催したIMF-J
Cと韓国金属労連との協議の
中での報告「韓国における外
国人労働者の実態と政策」要
旨も掲載しています。

(編集・文責＝IMF-JC組
織総務局)

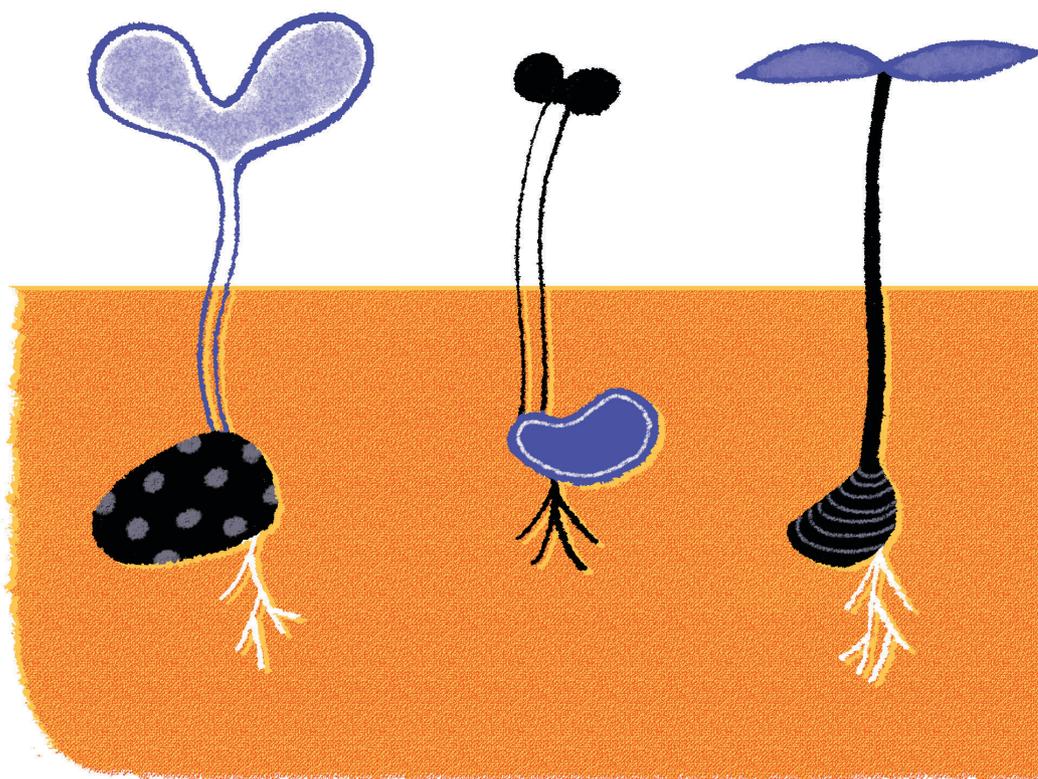


Illustration : しおたまこ